



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 MRKホールディングス株式会社

コード番号 9980 URL <https://www.mrkholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 徹

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 経営管理本部長兼経営企画部長 (氏名) 中 研悟 TEL 06-7655-5000

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,459	10.6	△379	—	△332	—	△266	—
2024年3月期第1四半期	4,030	△4.5	△580	—	△519	—	△355	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △256百万円 (—%) 2024年3月期第1四半期 △286百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△2.63	—
2024年3月期第1四半期	△3.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	20,642	14,200	68.8
2024年3月期	22,021	14,558	66.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 14,200百万円 2024年3月期 14,558百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	8.2	880	59.3	1,000	62.0	580	157.5	5.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期1Q	101,295,071株	2024年3月期	101,295,071株
2025年3月期1Q	537株	2024年3月期	537株
2025年3月期1Q	101,294,534株	2024年3月期1Q	101,294,579株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、女性の皆様が輝く人生を過ごしていただけるよう美と健康に関する多彩な商品・サービスを提供する『美の総合総社』の実現に向け、補整下着の販売を中心に、美容コスメや健康関連商品並びに、マタニティ及びベビー関連商品、婚礼・宴会関連事業、美容関連事業など、魅力ある商品・サービスの拡充を推進しております。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。

一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の悪化など不安定な国際情勢に加え、原材料価格の高騰や円安が続く為替相場など、今後の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

また、小売業界におきましては、物価上昇にともなう節約志向など、依然として厳しい経営環境のまま推移いたしました。

そのような状況のもと、婦人下着及びその関連事業においては、主力商品「Liberdigne（リベルディーニュ）」の販売が好調だったことにより、補整下着の売上が前年同期比11.8%増となるなど、順調に推移いたしました。

さらに、EC販売においては、定期購入の促進とネット限定品の拡充やポイント還元施策など、購買意欲促進に向けた施策を実施した結果、前年同期比10.8%増と順調に推移いたしました。

次に、マタニティ及びベビー関連事業においては、価格改定及び値引抑制を図ったことにより、粗利率が前年同期比4.7ポイント改善するなど、収益改善が進みました。

また、中長期的な成長を目指し、従業員満足度の向上及び人財育成のため、給与体制の見直しなど先行投資を実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高44億59百万円（前年同期比10.6%増）、営業損失3億79百万円（前年同期は5億80百万円の営業損失）、経常損失3億32百万円（前年同期は5億19百万円の経常損失）、法人税等調整額（△は益）として△1億26百万円を計上（前年同期は△1億91百万円を計上）したことにより親会社株主に帰属する四半期純損失2億66百万円（前年同期は3億55百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの概要は次のとおりであります。

#### [婦人下着及びその関連事業]

婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の販売及びコスメや健康食品などの美や健康に関連する商品の販売が主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間において、商品展開においては、2024年1月に発売した主力商品「Liberdigne（リベルディーニュ）」の好調な売れ行きの中、同年6月に、新色「Liberdigne Pink（リベルディーニュ ピンク）」の数量限定発売に加え、夏の暑い日でも快適に過ごせる補整ランジェリー「Luresereine（ルルスレーヌ）」を発売し、好評を博しました。

補整ランジェリー「Maquigeriec（マキジェリク）」においては、2024年4月より、全国のマルコ店舗で販売を開始したほか、商品ラインアップの拡充とプロモーションを強化し、新規顧客の獲得と離反顧客の呼び戻しに奏功いたしました。

「MARUKO ASSE（オーダーメイドインソール及び専用シューズ）」においては、リピート顧客が定着したほか、男性のお客様をはじめ新規顧客層の開拓に向けて、スポーツイベントに積極的に出展するなどプロモーションを強化した結果、新規顧客の獲得が進み、盤石な顧客基盤を形成いたしました。

また、EC販売においては、定期購入の促進と、ネット限定品の拡充やポイント還元施策など、購買意欲促進に向けた施策を実施した結果、前年同期比10.8%増と順調に推移いたしました。

次に、店舗展開においては、新規のお客様に対応するべく、1店舗の新規出店『MARUKO横浜東口店』（横浜市、2024年4月2日オープン）と、2店舗の移転・改装を行い、既存のお客様にもご満足いただける店舗づくりを推進いたしました。

また、中長期的な成長を目指し、従業員満足度の向上及び人財育成のため、給与体制の見直しなど先行投資を実施いたしました。

以上の結果、売上高は38億42百万円（前年同期比9.9%増）、セグメント損失は3億12百万円（前年同期は4億95百万円のセグメント損失）となりました。

#### [マタニティ及びベビー関連事業]

マタニティ及びベビー関連事業においては、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨の販売が主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間においては、国内出生数が統計開始以来、過去最少の見込みとなる中、仕入価格の高騰など厳しい状況下となりましたが、商品開発において、ターゲット顧客層に効果的にアプローチする商品の開発を進めるとともに、商品価格改定及び値引抑制を図ったことによる粗利率の改善など、収益改善が進みました。

また、EC販売においては、出荷体制を整備し、配送サービスを向上したことで、お客様満足度の向上に寄与いたしました。

さらに、物流体制の見直し及び不採算店舗撤退など経費削減により、収益構造の改善が進みました。

以上の結果、売上高は2億84百万円（前年同期比6.5%増）、セグメント損失は13百万円（前年同期は48百万円のセグメント損失）となりました。

#### [婚礼・宴会関連事業]

婚礼・宴会関連事業においては、結婚式場の運営やカフェ・レストランなどの飲食事業の運営が主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間においては、宴会会場利用促進に向けた営業が奏功したことに加え、自社主催のイベント実施により、法人宴会及びイベント売上が前年同期比103.2%増と順調に増加するなど、売上は大きく伸びました。

一方、中長期的な成長を目指し、新施設『GRAND FESTA HAKATA』（福岡市、2024年7月1日グランドオープン）や、採用育成強化に向けた先行投資を実施いたしました。

以上の結果、売上高は1億82百万円（前年同期比62.3%増）、セグメント損失は50百万円（前年同期は34百万円のセグメント損失）となりました。

#### [その他]

その他においては、美容関連事業などが主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間においては、美容関連事業の安定した顧客基盤に加え、新規顧客の獲得が進む中、不採算の業務委託型店舗3店舗を整理したことにより、一時的に減収となりました。

また、中長期的な成長を目指し、新規出店『FURUSHO栄店』（名古屋市、2024年4月23日オープン）や、採用育成強化にともなう先行投資を実施いたしました。

以上の結果、売上高は1億61百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント損失は4百万円（前年同期は2百万円のセグメント損失）となりました。

※上記、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は146億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億61百万円減少いたしました。これは主に、商品の増加、短期貸付金の減少、売掛金の減少、現金及び預金の減少の結果によるものであります。

#### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は59億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億83百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産の増加、建物及び構築物の増加、無形固定資産の減少の結果によるものであります。

#### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は48億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億26百万円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の減少、買掛金の減少の結果によるものであります。

#### (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は15億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億94百万円減少いたしました。これは主に、資産除去債務の増加及び長期借入金の減少の結果によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は142億円となり、前連結会計年度末に比べ3億58百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び剰余金の配当による利益剰余金の減少の結果によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,564,827	2,277,348
売掛金	6,151,077	5,663,348
商品	1,553,067	1,742,904
原材料及び貯蔵品	406,399	391,532
短期貸付金	1,000,000	—
関係会社短期貸付金	4,000,000	4,000,000
その他	639,672	682,647
貸倒引当金	△99,160	△103,695
流動資産合計	16,215,885	14,654,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,150,149	2,217,945
その他（純額）	1,646,446	1,644,551
有形固定資産合計	3,796,595	3,862,496
無形固定資産	294,810	262,590
投資その他の資産		
その他	1,795,142	1,948,670
貸倒引当金	△81,178	△85,068
投資その他の資産合計	1,713,964	1,863,602
固定資産合計	5,805,370	5,988,689
資産合計	22,021,255	20,642,775

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,519,274	1,162,864
短期借入金	100,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	2,146,019	1,732,292
未払法人税等	124,073	74,803
賞与引当金	50,000	69,605
ポイント引当金	88,000	95,000
株主優待引当金	208,030	206,701
資産除去債務	5,781	4,185
その他	1,329,234	1,448,627
流動負債合計	5,570,413	4,844,080
固定負債		
長期借入金	1,353,980	1,033,256
資産除去債務	482,425	506,523
その他	55,748	58,286
固定負債合計	1,892,155	1,598,066
負債合計	7,462,568	6,442,147
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,491,360	6,491,360
資本剰余金	6,473,978	6,473,978
利益剰余金	1,232,087	864,564
自己株式	△89	△89
株主資本合計	14,197,337	13,829,814
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	361,349	370,813
その他の包括利益累計額合計	361,349	370,813
純資産合計	14,558,686	14,200,627
負債純資産合計	22,021,255	20,642,775

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,030,643	4,459,451
売上原価	972,333	1,115,365
売上総利益	3,058,310	3,344,085
販売費及び一般管理費	3,638,443	3,723,129
営業損失(△)	△580,132	△379,043
営業外収益		
受取利息	30,666	98,873
受取手数料	10,841	6,734
その他	21,554	6,923
営業外収益合計	63,063	112,532
営業外費用		
支払利息	141	60,894
その他	1,841	4,880
営業外費用合計	1,982	65,774
経常損失(△)	△519,052	△332,285
特別利益		
償却債権取立益	27	—
特別利益合計	27	—
特別損失		
固定資産売却損	—	8,522
減損損失	—	26
その他	251	393
特別損失合計	251	8,943
税金等調整前四半期純損失(△)	△519,276	△341,229
法人税、住民税及び事業税	28,302	51,763
法人税等調整額	△191,777	△126,764
法人税等合計	△163,474	△75,000
四半期純損失(△)	△355,801	△266,228
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△355,801	△266,228



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△355,801	△266,228
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	68,986	9,463
その他の包括利益合計	68,986	9,463
四半期包括利益	△286,815	△256,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△286,815	△256,764
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	3,495,302	266,837	102,031	3,864,171	166,472	4,030,643
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	350	—	10,129	10,479	—	10,479
計	3,495,652	266,837	112,161	3,874,651	166,472	4,041,123
セグメント利益 又は損失(△)	△495,117	△48,753	△34,821	△578,691	△2,521	△581,213

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	4,030,643
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△10,479	—
計	△10,479	4,030,643
セグメント利益 又は損失(△)	1,080	△580,132

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,080千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	3,841,789	284,219	172,109	4,298,118	161,332	4,459,451
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	590	—	9,926	10,516	367	10,883
計	3,842,379	284,219	182,035	4,308,634	161,699	4,470,334
セグメント利益 又は損失 (△)	△312,499	△13,008	△50,168	△375,676	△4,383	△380,059

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	4,459,451
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△10,883	—
計	△10,883	4,459,451
セグメント利益 又は損失 (△)	1,016	△379,043

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額1,016千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	92,136千円	100,893千円